

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本

2022年本屋大賞

本屋大賞

大賞

『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂冬馬(早川書房)

2位 『赤と青とエスキース』

青山美智子(PEPO研究所)

3位 『スモールワールズ』

一穂ミチ(講談社)

4位 『正欲』

朝井リョウ(新潮社)

5位 『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成(KADOKAWA)

6位 『夜が明ける』

西加奈子(新潮社)

8位 『硝子の塔の殺人』

知念実希人(実業之日本社)

7位 『残月記』

小田雅久仁(双葉社)

9位 『黒牢城』

米澤穂信(KADOKAWA)

10位 『星を掬う』

町田そのこ(中央公論新社)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2020年12月〜2021年11月に刊行された日本人作家の小説の中で

書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

NOLTY PAGEM
ノルティ ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。